

令和2年度 学校関係者評価

北海道南幌高等学校

○各評価項目の「自己評価の適切さ」及び「改善に向けた取組の適切さ」について、次の基準にて評価をお願いします。

A [適切である]	B [どちらかといえば適切である]
C [どちらかといえば適切でない]	D [適切でない]

		評 価 項 目	自己 評価	自己 評価の 適切さ	改善に向けた取組	改善に向 けた取組 の適切さ
学 校 経 営	1	学校教育目標や重点目標を踏まえ、分掌や学年では重点目標や教育計画を設定している。	3.5	3.6	・情報格差の防止と理想とする学校像の共有に努め、チーム南高として一体感を持った学校経営を進める。	3.6
	2	生徒の実態を踏まえた教育課程の編成が成されている。	3.4			
	3	昨年度の反省を十分生かした分掌、学年の教育活動計画を実践している。	3.3			
学 習 指 導	4	基礎・基本の確実な定着を目指し、生徒の実態に合ったわかりやすい授業をしている。	3.5	3.5	・本校で育てたい資質・能力を育成する学習指導の在り方を検討するとともに、教科横断的な授業の推進を図る。 ・授業アンケートを核とした授業におけるPDCAサイクルの構築を図り、不断の授業改善を図る。	3.4
	5	個に応じたきめ細やかな指導をしている。	3.5			
	6	自ら学び、自ら考え、課題解決に主体的に取り組む資質能力を育てている。	2.8			
	7	生徒の学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを含めた学力を育成している。	3.1			
	8	学習活動全般をとおして、言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を育成している。	3.0			
	9	学習評価の工夫・改善を行っている。	3.0			
生 徒 指 導	10	家庭学習を取り組ませる指導を行っている。	3.2	3.6	・生徒の特性と指導の在り方について共通理解を図り、個の特性に応じた指導のより一層の充実を図る。 ・行事等を通じて生徒の成長を促す意識の共有を図り、本校で育てたい資質・能力の向上に努める。	3.6
	11	基本的な生活習慣と規範意識を高める指導を行っている。	3.3			
	12	一人ひとりの生徒理解に努め、個に応じた指導を行っている。	3.5			
	13	いじめのない生命を大切にしたい指導を行っている。	3.5			
	14	部活動やボランティア活動の充実を図り、生徒の自主的な活動を促進している。	2.7			
進 路 指 導	15	生徒指導において、教職員の共通理解のもと、全校的な連携した協力体制のもと一致して指導している。	3.0	3.6	・「南幌学」等の実践を通じて、社会に貢献する態度を身につけるとともに、働くことの意義の理解をより強固なものとする。	3.8
	16	望ましい勤労観・職業観の育成をめざし、就業に関わる体験的活動やキャリア教育を推進している。	3.4			
	17	主体的に進路選択できるよう、生徒、保護者に適切に進路に関する情報提供を行っている。	3.1			
健 康 安 全	18	生徒や保護者の希望に応えられるよう組織的な進路指導を行っている。	2.9	3.7	・生命尊重の意識を育てるとともに、自らの悩みを相談できる体制のより一層の充実を図る。	3.6
	19	性・薬物乱用防止教室等を通じて、心身ともに健康増進のための取組をしている。	3.5			
	20	相談しやすい環境づくりを推進し、教育相談や生徒の居場所を作っている。	3.7			
学 校 信 頼 さ れ る	21	生徒が健康で安全な生活が送れるよう教育環境の整備を行っている。	3.5	3.4	・積極的な情報発信と町をはじめとする各方面との連携強化により、より一層の教育活動の充実を図る。	3.5
	22	保護者や地域住民の意見、要望等を踏まえた学校運営を推進している。	3.1			
教 職 員 の 資 質 向 上	23	保護者や地域等への情報発信に努め、教育活動を理解してもらうよう努めている。	2.9	3.7	・予測不能な未来において求められる教育像について、理解促進を図り、社会の要請にこたえる資質の向上を図る。	3.8
	24	公務員としての自覚を持ち、信頼される学校づくりを行っている。	3.7			
	25	生徒の授業アンケートを活用して授業改善に努めている。	3.0			
	26	校内研修の充実と各種研修会へ参加している。	3.4			